

吾妻山の火山活動解説資料（平成 22 年 12 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

大穴火口の噴気活動はやや高い状態が続いています。火山性地震は少ない状態で経過しました。地殻変動に特段の変化はなく、ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。引き続き、火口内では火山ガスの噴出がみられますので警戒が必要です。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～3）

上野寺（大穴火口の東北東約 14km）に設置してある遠望カメラによる観測では、大穴火口（一切経山南側山腹）からの噴気の高さは、50～200m で経過し、噴気活動はやや高い状態が続いています。

・地震や微動の発生状況（図 4）

火山性地震は、少ない状態で経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 5～6）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。



図 1 吾妻山 観測点配置図

（小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。）

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 1 月分）は平成 23 年 2 月 8 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ (標高)」を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。



図 2 吾妻山 大穴火口からの噴気の状態 (12 月 19 日 14 時 31 分頃)
 福島市上野寺 (大穴火口から東北東約 14km) に設置した遠望カメラによる。
 大穴火口からの白色噴気の高さは 200m。

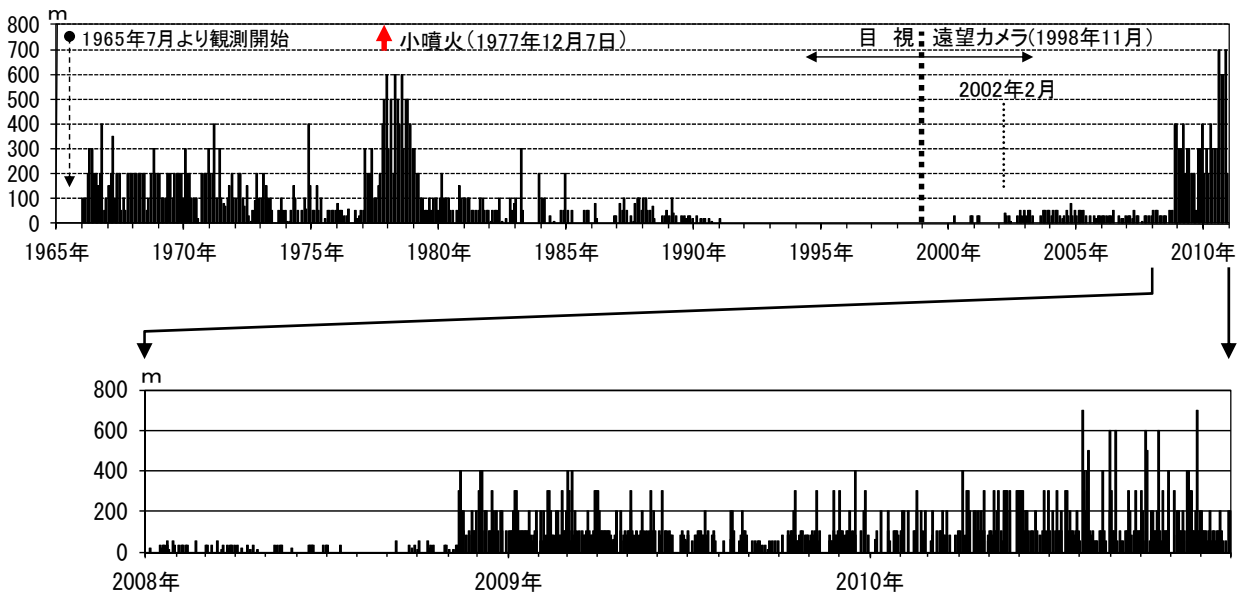


図 3 吾妻山の噴気の高さ 上段：月別最大噴気 (噴煙) 高 (1965 年 7 月～2010 年 12 月)
 下段：日別最大噴気高 (2008 年 1 月～2010 年 12 月)
 1998 年以前は福島地方気象台 (大穴火口の東北東約 20km) からの目視観測です。
 1998 年から遠望カメラ (大穴火口の東北東約 14km) による観測です。
 2002 年 2 月以前は定時 (09 時、15 時) 及び随時観測による高さです。
 2002 年 2 月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。
 2010 年 8 月 3 日、11 月 27 日に一時的に 700m、8 月 31 日、9 月 5 日、10 月 6 日、18 日に一時的に 600m を観測しました。

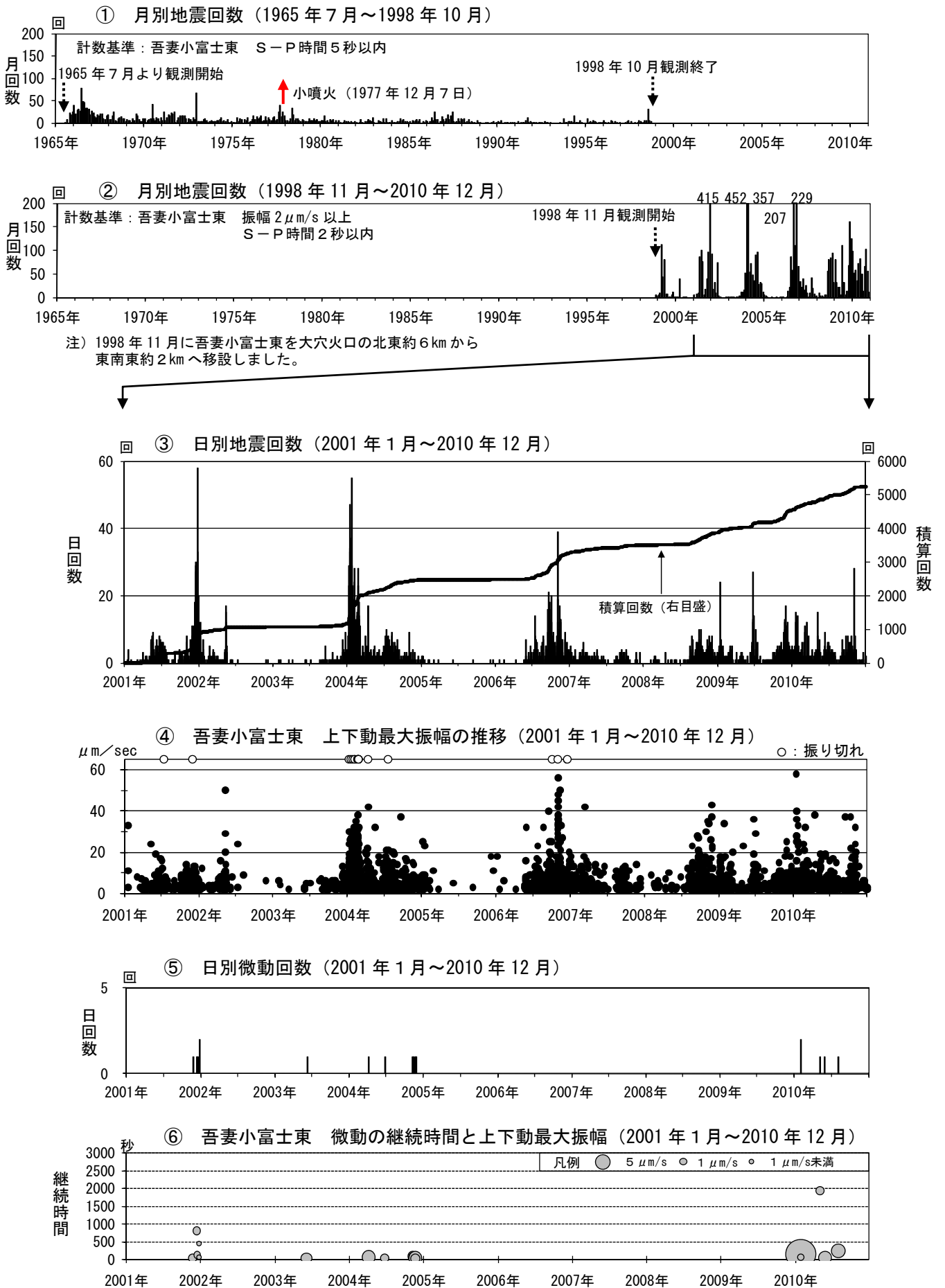


図4 吾妻山 地震活動経過図

機器障害のため、2010年10月14～15日の日別地震回数は欠測です。



図5 吾妻山 GPS 観測点配置図

GPS 基線①～④は図6の①～④に対応しています。

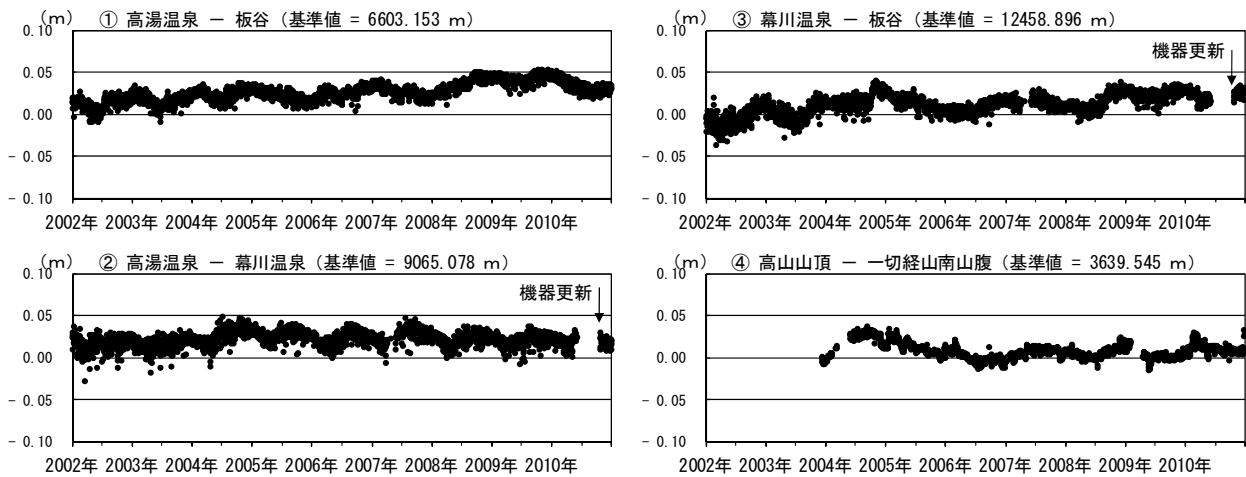


図6 吾妻山 GPS 基線長変化図 (2002年1月～2010年12月)

①～④は図5のGPS基線①～④に対応しています。
 グラフの空白部分は欠測を表しています。